

〔 メールマガジン？より 〕

覚えている方もいるかも(?)しれませんが、以前この通信で「メールマガジンを週に1回ペースで始める」と書いたことがありました。季節のトピックをオンタイムで届ける！ということでしたが、その後どうなったかという...。書きたいことがあった時に、テキストに出すことにしました(笑)。まだ2回しか出してませ～ん！すみません...

まずはそこからの転載です。

記念すべきメールマガジン第1号！

今日(2月24日)、初めて福江(下五島)に行ってきました。観光旅行だったらいいのですがそうではなく、僕の大事な家族が手術を受けるための急な日帰り旅行でした。我が愛犬「ワン」がフィラリアにかかったのです。

22日から食欲がまったくなく、元気のないワンを昨日(23日)散歩に連れて行ったところ血尿を出したので、「こりゃ大変!」と、電話帳を引っ張り出して電話をかけまくりました。

それというもこの上五島(中通島)には獣医さんがいない。おまけに昨日は日曜日でどこも休診日だったので焦りました。島の保健所に相談して福江の獣医師さんを紹介してもらい、電話をしたところ、今日は先生がいないから明日来てくれとのことで、今朝は福江に向かうべく5時半起床で港へ急ぎました。けれどまた都合の悪いことに、フェリーが月に一度の運休日で、車を飛ばして別の港へ。結局9時半頃に福江に着いて、お医者さんへ駆け込みました(その間に素晴らしい話が3つあるのですが書いたらすごい量になっちゃう。五島に来て良かった!と思った今朝でした)。

診断の結果フィラリアの末期症状で、このまま放っておけば48時間以内に間違いなく死亡すると言われ、一も二もなく手術をお願いしました。麻酔をかけられて苦しんでるワンを見て、涙をこらえるのに大変でしたが、もっともっと大変なワンを見て、ただただ「がんばれ、生きてくれ」と祈るばかりでした。この言いようのない感情は、とても言葉にはできません。いつかワンのことは、ワンとのことは通信で書こうと思っていましたが、僕にとってワンは犬ではなく、言葉どおりの家族。大事な大事な家族です。これは言葉では本当に言い表せないし、決して分かってくれないとも思います。それほどのエピソードがこの4年の間で、たくさんたくさんありました。そのエピソードの数々はいつか必ず書く時がきますが、とにかく、手術は無事成功!!一命を取りとめることができました(この喜びを、とにかく誰かに伝えたくて書いた通信第1号です)。フィラリアが完治したわけではありませんが、峠は越えました。術後の様子を見るためにまだワンは福江で療養中で、2～3日後に迎えに行くことになるはずです。

すみません。これだけなんです。ただただ嬉しくてメールを書いちゃいました。

以上では淋しすぎるかも？なので蛇足になっちゃうでしょうが、交通費を含め、手術など経費8万円也は、正直僕の暮らしには大きいですが、そこは転んでもタダでは起きないアタクシなので、しっかり福江港のお土産屋さんに「手塩」を置いてもらう商談をしてきました。てっきり下五島のお土産屋さんにも誰かがすでに塩を置いてあるものと思っていたのですが、以外にもそうではなかったの、3日後？の福江行きの際に詰めの交渉をしていくことになります。うまく行けば、初めての「店頭販売」がもうすぐ始まりそうです。福江は上五島と違って観光の盛んな島なので、かなりの販売数が期待できるのではないかな？そうなれば手術費用はチャラどころかテンテンテン…。

とにかく朝から感動しっぱなしの今日でした。

こんな感じで、これから不定期・適当・いい加減なメールマガジンが(メールマガジンと呼べるか?)ポツポツ届くかもしれません。なんの期待もせずに、これからもどうぞよろしく！！

とにかく良かった！！！！！！

五島・メールマガジン第2号

平成15年3月18日。今日、またまたヤギの赤ちゃんが産まれました。両親はなんと、昨夏8月9日に生まれたばかりの兄妹で、つまり7ヶ月で早くも人の子？の親になったというわけです。まだの確認をしていませんが、またもやキャンプ直前に産まれるという、まあ嬉しいハプニングがありました。前回のワンの手術にしろ、近頃の我が家は動物ネタがとても多いです。

実はワンが手術をする2日前、今回親になった2頭を産んだお母さん(センチ)が死にました。死因は流産。死産のあといつまでも出口？から胎盤が離れなかったのが原因でした。流産の原因を考えると、自分の息子との間でできた妊娠だったので、いわゆる近親相姦かと思っていたのですが、今回兄妹間での無事出産を思うと、ヤギの間では関係ないのかどうなのか…。

それから我が家のホッラカシ放し飼いの鶏(現在3羽)ですが、最近家の台所の窓に卵を産むようになりました。つまり台所の窓を開けるとそこに卵があって、家に居ながらにして新鮮な卵にありつけるというわけです。エサも半年以上あげてないしこれほど楽なことはない！

さてもう一つ、動物ネタ？と言って良いのかどうか、2月の末から我が家に居候が来ています。隣の福江島出身のサトシ君(24)は、もう2年以上家に帰ってないという旅人で、沖縄を旅している時にたまたま僕の記事が出ている雑誌を読んで、興味を持って訪ねてきたという変わり者です。春のキャンプのリーダーをやってくれることになっているので、少なくとも6週間は我が家になることになりそうです。彼のお蔭でキャンプの準備作業も快調。風庵もできてきたし、家の回りの雑木林も大分整理できました。ほんの2ヶ月前と今では景色も我が家もモノスゴク変わりましたよ。それから最後に、春のキャンプですが、いつもより全然宣伝していないにも拘わらず、募集定員の20名が集まりました。しかも全員男！！今までもスゴイ！？キャンプだったけど、今回はさらにパワーアップしてトンデモナイことになりそうです。だけどそれが非常に楽しみなんだな。ただちょっと困ったことに、僕は参加者が10名前後だろうなとタカをくくっていたので、リーダーを2人しか呼んでいなく、今頃になって焦ってリーダーを探しているところです。誰か心当たりのある方は、リーダーの件、よろしくご一報ください。

それではこれにて、第2回のメールマガジンを終わります。みなさん遊びに来てくださいな！！

「ワン」のその後は、5月にまたフィラリアの件で福江に行きましたが、まあ順調で、元気で

す。初めての店頭販売の方はあまり順調ではなく、一度出荷しただけにとどまっています。キャンプについては以下で。

〔 またまた「しまキャンプ」について 〕

春の「しまキャンプ」については、前述したように男の子ばかり20人のキャンプで、大きな事故もなく、ミソ作りもうまくいって無事に終わりました(常に5名以上の島外からのスタッフを確保できました)。20人中リピーターや口コミでの参加が16名と、お蔭様で「しまキャンプ」もだいぶ軌道に乗ってこれたかなと思っています。

実は、キャンプが軌道に乗って暮らしにももっと余裕が出来てきたら、男の子だけのキャンプ「男のしまキャンプ」というのをやろうと前々から考えていました。今回図らずもそういう形になって、「やっぱりいつかやりたいなあ」と思いましたが、具体的には、夏のしまキャンプの開始3日くらい前に、少数の男の子と僕だけでキャンプをし、「男のしまキャンプ」に参加した子どもはそのまま「しまキャンプ」に合流する…。つまり「男～」に参加した子どもは合わせて15泊16日のキャンプになるというもので、さらに、「男～」の子ども達には「しまキャンプ」でリーダー的な役割りを担ってもらおうというのが狙いです。早ければ来年度から、リピーターの男の子という条件で実施してみるつもりです。それから冬休みにも「お正月準備キャンプ」みたいなのをやってみたいと思っています。

以下は2003年「夏」の告知です。

主催 しまキャンプ実行委員会 企画・運営 ぐらしの学校「えん」

後援 新魚目町教育委員会

期間 平成15年8月8日(金)～20日(水) 12泊13日

集合 8日13:00 解散 20日13:45

集合・解散場所 佐世保周辺(駅・バスターミナル、またはフェリーターミナル)

過去4回のしまキャンプでは、遠くは横浜から飛行機で参加する子どもが毎回1～3人います。移動経路やスタッフとの合流についてなど、まずはお気軽にお問い合わせください。

対象 小学校3年生～中学校3年生の男女 20人

参加費 44,000円(兄弟割引 42,000円) (集合から解散までのすべてを含む)

募集締め切り 平成15年7月25日(金)

申し込み方法 ・Fax・郵便・メールなどで、まずは我が家にお問い合わせください。

郵送の方には募集案内のパンフレットを同封しておりますので、そちらをご覧ください(メールの方はゴメンナサイ。通信の発送数がとうとう400件を越えました。感謝！)(今回も表紙は、友人の藤原仙人掌さんによる素晴らしい書です)。さらに詳しくお知りになりたい方は、ご一報いただければすぐに資料を郵送いたします。

今年度以降、夏は12泊13日、春は5泊6日という体制で、しばらく続けていくつもりです。夏のキャンプは期間が長いので、参加者集めに毎回苦戦しておりますので、知り合いの方等にぜひぜひお勧めしてください。そして、スタッフ集めにさらに苦戦している状態で、何かと忙しい学生さんを8名以上、2週間も拘束するとなると中々集まらないのが実情です。学生でなくてももちろん構いませんので、スタッフ募集の件も、どなたかお知り合いの興味を持ちそうな方にぜひお声をかけてみてください。そしてまずは、気軽に僕の方までお問い合わせをお願いします。

いつもいつもお願いばかりですが、どうぞよろしくお願いいたします。

[お知らせ]

メールでのご注文やお問い合わせをいただく際は、以下の hotmail のアドレスでお願いします(以前使用していた livedoor は、2ヶ月に一回メールをチェックする程度なのです)。要望の声が多いため(嬉!謝!)、無選別の塩を500グラムでも販売することにいたしました。どうぞご利用ください。

次回の通信は7月の初旬に発送予定。4年目となる田んぼの話と、久しぶりに塩の話をする予定です。どうぞよろしくお願いいたします。

「塩」 売ります!

下記の連絡先に電話・ファックス・ハガキ・メール等で、名前・住所・電話番号・必要グラム数をお知らせください。

塩	100g	200円	/	500g	1000円	/	1Kg	1800円
無選別・粗塩	1Kg	1200円	/	500g	650円			

(結晶が粗く、木材のススなどのゴミが微量に混入する怖れがあります)

にがり粉末	1Kg	500円	/	にがり原液	1% 200円	(すべて税込み)
-------	-----	------	---	-------	---------	----------

5000円以上お買い上げの方は送料無料(その他は購入者負担)です。

平均的4人家族の塩の年間使用料は約2.5Kgです。

連絡先

〒857-4601 長崎県南松浦郡新魚目町小串郷大浦

TEL/FAX 0959-55-2707 メール: kurashi_en@hotmail.com

自然海塩「晴耕雨読」 ぐらしの学校「えん」 小野 敬

晴 耕 雨 読

No.16

〔 大工になるっ?! 〕

五島に来てから小屋を6軒、小屋とは呼べなさそうなデッキのを2軒、我が家周辺に建てて、とにかく楽しいんですね～！ 建てる前も・間も・あとも！

「生まれ変わったら大工になる！」と公言して憚らない僕ですが、仕事としてやったら、やっぱり大変なことも多いみたいです。というのも、地元・小串の大工さんに弟子入りのようなこと?!を最近しているからです。建てれば建てるほど、やっぱり「ちゃんと建てたい！」と思うし...

「...ようなこと」というのは、本業の塩づくり、それからキャンプ準備には支障を来たさない程度ということで、午前中の2時間前後をお手伝いするだけだからです(時には丸一日手伝うこともあります、2時間に一回は薪をくべに帰宅します。現場で出た焚きものと共に)。それでもとても、勉強になっています。

最近、「お金を貯めたい！」と思うようになりました。なんの保証もない自由業の身ではあるし、絶対家庭を持ちたいし(相手がいないだけなんです...)、当面の理由としては、「自分で自分の家を、しっかりと建てたい！」という夢があるからです。

僕が今、住んでいる家は築31年(奇しくも僕と同じ年)ですが、空き家だった期間が8年あるので、人が住んでいない家はすぐ傷むし(来た当初は周囲が森と化していた!つまり湿気と虫の宝庫だったのでなおさら)、今でも家の裏手は森で、オマケに前は3面護岸された川が流れているので...(夏は蒸し暑く、冬は谷間でもあるから早くに陽が翳って寒い!)。傷みは相当激しく、遊びに来た人はお分かりのように、台風が来るたびちょっとした「覚悟(?!)」のいる我が家なわけで、大工さんにチェックしてもらったところ、「この家はあと10年持たん！」と言われてしまいました。それを聞いても、「やっぱりな」と思っただけですが...

というわけで、あと8年以内に家を新しく作り変えたいのです。自分の手で!(8年というのにも訳がありますが、大した理由ではないので...)。今までは、稼いだお金はすべてキャンプの施設や塩作りの設備投資に回していたので、ただ今貯金はゼロ!でも、設備は大分整ってきたので、これから新しく作らなければならない施設はそんなない(あとは「風力の蒸発施設」と「調理場兼キャンプ小屋」を作るだけかな?でも維持費も結構かかるんです)。8年間で500万円の貯金を目標に、まずはガンバルつもりです(今の売上げのペースが続けば、充分可能な数字です。でも、500万で家を建てようなんて、都会ではちょっと信じられないでしょ?!)。

家に限らず、作る・創るというのは本当に楽しい作業ですね。我が家は常に何か作っていますので、覚悟を持って(?!)、みなさん遊びに来てくださいね!!

〔 スミマセン、にがりを値上げさせていただきます 〕

テレビを始めとして、ここ最近あらゆるマスコミで「にがり」の効用が取り沙汰されています。この島でも製塩業者がバンバン増えています、その多くが塩よりも「にがり」の方が売れているそうです。今「にがり」はちょっとした、否、大ブームを迎えているといった感じです。デパートやスーパーなどで高価な値をつけて売られているのを、みなさんも見た事があるのではないのでしょうか。僕の「にがり」も大分売れてきました。売れているからといって、儲けようと単純に値上げをするわけでは決してなく、最近「にがり」だけを買うお客様も増えてきたことなど、今の値段ではできなくなったというのが実状です。

最近塩化マグネシウムだけのものや、いろんな混ぜ物が入ったものも「にがり」として売られています。まず「にがり」とは何かというと、「海水から塩を採り出したあとに余った液体」のことです（「本物のにがり」は、原材料が「海水」とだけ書かれているはず）。僕の場合、同じ海水量から採る塩が他の業者より少ない（つまり「にがり」としては薄い。 ）ので、塩から残った液体をもう一度煮詰めて結晶させたものを「粉末」として、その残った液体と薄い液体をブレンドしたものを「原液」として売っています。ですから「粉末」にも「液体」にも、「にがり」の成分はしっかり入るようになっていきます。まだそんなに売れてない頃は、一ヶ月に一度程度「にがり」を作っていれば良かったのですが、今は「にがり」を捨てることもあまりなくなって、週に一度は「にがり」づくりに時間を取られるようになりました。

僕が「にがり」を売り始めた当初は、原液を1ℓ500円、粉末を1キロ800円で販売していました。これでも今店頭で売られている「にがり」と比べれば安いですが、その頃はまだ、そもそも「にがり」がなんなのか知らない方が多く、売れずに除草剤として捨てていたし、とにかく良いものだから広く・気軽に使っていただきたいと、値段を今の200円と500円に下げました。塩を買うついでに買ってもらおうオマケというか、サービスのつもりです。今もこれからも、「にがり」はサービス」という気持ちは変わりません。僕は自分を「塩屋」だと思っているし、今の「にがりブーム」は「ブーム」であって、例えばバブルのようなもの、いつか終わるものだと思っているからです（塩は生きていく上で絶対に必要なものですからね。でも「にがり」も本当に良いものなんですよ！）。「にがり」の 製造に時間と手間を取られる以上、肝心の塩の製造にも影響があるので、商売として成り立つ 最低限の値段まで上げることにしました。気軽に使える値段かどうかは分からないけど、広く・長く使い続けてもらえるかな？とは思っています……………？！

やっぱり値上げするって大変ですな。

以上、言い訳終わりっ！！

お客様が「手塩」を食べた時、「甘くてやさしい味」と感じてもらえるよう、他の業者より早い段階で、僕は塩を採り出すのをやめています（なによりも、僕が一番美味しいと思える「塩加減」です）。仕上げの行程に入って、最初の一すくい目の塩は甘く、それがすくうに従って段々と辛く・苦くなっていくからです。かん水と「にがり液」を舐め比べれば分かりますが、かん水は甘く、「にがり液」は苦くて辛くて、とても舐められないですよ。というわけで、僕の「手塩」はちょっと贅沢な塩なんです。

[変更後のお値段]

	今の値段	平成16年1月からの値段
にがり粉末	1キロ500円	1キロ600円
にがり原液	1ℓ200円	1リットル400円

とさせて戴きます。今年中に受けた「にがり」の注文(20キロ・20リットルまで)は、今の値段で販売しますので、この機会にぜひ「にがり」をお試ください。塩と同様、「にがり」も半永久的に品質は変わりません。

[一般的な「にがり」の利用方法]

「にがり」は、主に豆腐の凝固剤として使用されてきましたが、現在では飲まれるなど、美容や健康に幅広く使われています。以下にその主な利用法を書き出します。

「にがり」は医薬品ではありません。

入浴剤として	200ℓの浴槽に、10～100g(諸説あるので)を入れる。
花粉症や鼻炎など	200ccのぬるま湯に小さじ約1杯を入れて飲む。
アトピーや体のかゆみ、乾燥肌・油性肌に	にがりの重量に対し、水で2～5倍に薄めたものを直接肌にすり込む。
ダイエットや便秘に	1ℓの水に小さじ1～2杯を入れておき、飲む。
虫さされ、水虫、やけど	粉末はなるべく濃く水で溶かし、原液はそのままつける。
風の予防、口臭、歯槽膿漏	重量に対し10～15倍に薄めて、うがいをする。

お米を炊く時にほんの少々入れると、炊きあがりが変わります。

この他に僕は、・除草剤 ・ニワトリや犬のエサ・水に少量混ぜる ・焼酎に数滴たらして飲む ・髭剃り後に薄めてつける ・食器洗い・手洗い・シャンプー・洗濯など洗剤として、と、あらゆることに「にがり」を使用しています(我が家の排水はそのまま川・海に流れてしまうので...)

天然にがりは人体に吸収されやすく、人間が本来持っている免疫機能を回復させ、細菌から体を守ってくれると云われています。いろいろ工夫されてご使用ください。

この他にも、お客様でご使用されて何かと効果がありましたら、ご一報くだされば幸いです。

[またまたキャンプ報告]

キャンプの話ばかりでウンザリしている方もいるかもしれませんが...

まず今年の応募状況ですが、定員20名のところ、なんと70件を越す参加申し込みがありました！自分でもビックリです(来年は一泊伸ばして13泊に戻すつもりです)。

男女の比率を合わせるため、男の子の申し込みを大分断ることになってしまいました(最後には女の子も断ることに...)。そして残念だったのは、リピーターの子で来たいと言ってくれた子も、先着順なので断ることに...(ゆう君・シュウゾウ・しーちゃん、ごめんなさい)。急ぎよ定員を23名に増やすことになりました。

さて内容の方ですが、今回ほど天候に恵まれなかったのは初めてで、まず8月8日初日は台風直撃でフェリー全便欠航！一日遅れのスタートとなりました。キャンプ中も雨ばかりで、予定の活動の多くが出来ずじまいになり、一時は土砂崩れの恐れから地元・小串の公民館に避難・一泊する一幕もありました。うって変わって終盤は猛暑となり、病人やケガ人が続出！日射病の子どもが出たときは本当に焦りました。それでも大事には至らず、大きな病気・ケガがなかったので、とにかく胸をなでおろしました。

今夏のキャンプ前から検討していましたが、今回の教訓から、次回からは毎日午後「勉強の時間」を取り入れる予定です(思いっきり遊んでもらいたいという想いから、今までは「持ってきてはいけないもの」として「学校の宿題」と書いてありました)。遊びすぎてしまう子ども達の体調管理、それからそんな子ども達に引っ張りまわされる(?!)スタッフの疲労回復の必要性などから、そうすることに決めました。さんざん迷いましたが、異年齢で勉強を教えあったり、学生のお兄さんお姉さんから教わったりと、楽しく勉強できるとも思うので...

キャンプをもっと詳しく知りたい方(いるかな?)は、報告書(500円)をお求めくださいね！

そしてそして、今年から冬休みも「しまキャンプ」を開催することになりました。すでに夏のキャンプの参加者に配布した告知を、以下に転載します。

[しまキャンプ・2003 冬休み]

冬休みの期間中、いつ来ていつ帰ってもいい「しまキャンプ・冬休み」を下記の要領で実施します。このキャンプのコンセプトは、「日本ならではのお正月を、正しく迎えること」「冬の我が家の暮らしを体験すること」です。

この島に移住して6回目のお正月を迎えることになりますが、これまで、お正月に凧揚げをしている子ども、コマまわしや羽根突きをしている子どもを五島で見た経験が、僕にはありません。そんなお正月らしい遊びを、外で、子ども達がする場面や機会が、全国的に減っているようです。そんな状況を淋しがっている地元の方も多く、しまキャンプをきっかけに残していければという思いから、冬のキャンプを実施することにいたしました。地元の方・子ども達もできるだけ多く参加してもらえよう、声をかけています。

そして僕の本業は「塩作り」ですが、塩を作っていて一番楽しいのは冬です。消し炭で魚を焼いたり、カマドで焼き芋や温泉卵を作ったり、掘り炬燵を楽しんだり...。何より火を見ているだけで、なんだか心まで温まります(五島で魚が一番美味しいのも冬です!)。そんな我が家の冬ならではの暮らしを、この機会にぜひ子ども達に体験して欲しいと思っています。

費用や準備の関係で、今回は学生スタッフを招ぶということ、特にはいたしません。基本的にスタッフは僕一人です。ですから参加の声をかけるのはリピーターだけとし、地元の方からお借りするワゴン車一台に全員が乗れる人数8名を定員として、買い物から送迎まですべて、

全員で行動します。キャンプの内容は、参加する人数や日にちが決まってから、子ども達と電話で・キャンプが始まってから決めていく予定です。

また、お正月を五島で迎えたいという保護者の方がおりましたらご相談ください。

ゆったりのんびり、あたたかいキャンプにしたいと思っています。よろしくお願いいたします。

〔実施期間〕 冬休みの間。いつ来ていつ帰ってもいい、何回来てもいいキャンプです。

〔費用〕 1泊1500円(2泊3日3000円、3泊4日4500円...ということですが、最低でも2泊以上はしてください) フェリー代は参加者負担です。

〔集合・解散場所〕 上五島(有川港か鯛の浦港のどちらかで、僕達が出迎えます。

船内は子どもだけの移動となりますが、どちらも終点までノンストップです。

同じ日にちの参加者がいる場合は調整します。

〔応募期間〕 今日から12月15日まで(船が混み合いますので予約を早めに！)

〔内容〕 鏡餅づくり、しめ縄づくり、門松づくり、凧づくり・凧揚げ、羽子板づくり・羽根突き、コマ回し、メンコ(五島では打ち札と言います)、双六、カルタとり、百人一首、押し競饅頭、釣り、等々の中から、子ども達と決めていきます。

〔必ず持ってくるもの〕 ナイフ・寝袋(冬用が望ましいが、なければ夏用でも可。宿泊は家の中で布団もあります。)・宿題などの教材(毎日勉強する予定！？です)

その他詳細は、電話連絡等でお伝えしていきます。

以上

現時点で5名の参加が決まっています(その他4名の問い合わせ)、その内3名が、なんと我が家で年越しし(年内に来て年内に帰る子どもが多いと思っていたので...)、長い子は8泊することになっています。楽しくなりそうですね(例年のように「飲みすぎる」こともお陰でなくなる?!)。

スタッフとして、または覗きに来てみたいという方大歓迎です(もちろん子どもの参加者も!)。それから「こんなことしてみたら？」というアイデアも募集中です。さらにさらに、正月を和服で迎えたいと思っている僕ですが、どなたか要らない和服を持っていらっしゃれば譲ってください!(身長175センチ体重70キロ、胴長短足の典型的な日本人体形!でも脱いだらスゴイの筋肉マンです!)。どうぞよろしくお願いいたします!

[イカ、売ります!!]

塩を買ってくれたお客様に、冬の間は「イカの一夜干し」を同封することなどがありました。その「一夜干し」が大好評で、「売って欲しい!」とまで言ってきた方が、まあ3名でしたがおりました(笑)。なので始めます!「イカの一夜干し」と「イカの塩辛」。

今、市場で売られている「一夜干し」の多くは、「冷凍モノの機械乾燥」ですが、僕(達)が作るのは、五島で揚がった生きたままの新鮮なイカを天日で干したものです。これは本当に美味しいですよ!

「僕達」というのは、地元・小串の漁師・ジュンさん(まさに知る人ぞ知る名物オヤジ!!紹介を書き始めたら全くキリがない!ホントにもうっ!!だから何も書けない!!我が家に来たら、ジュンさんとは必ず会う・飲む!とにかく僕が一番お世話になっている人とだけ書いておきます!)

と2人で作るからです。僕が知る最高の知識人でもあるジュンさんは(書いちゃった!)、専門がフランス料理というコダワリの調理人でもあり...(和・伊料理も最高!コダワリのラーメンもウマイ!)。そのジュンさんが捕ってきたイカと、僕の「手塩」で作るイカの塩辛は絶品です!(もちろん無添加。ジュンさんの作るイカの沖漬けも最高です!)。まずはお試しください。ぜひ!!

{ イカ3品 (税込み) }

イカの一夜干し(保存等の関係上、厳密に言うと「二夜干し」します)	2枚入り	500円
スルメイカ(1週間~10日程度、完全に干しあげます)	5枚入り	1500円
イカの塩辛	500グラム	800円

イカの販売は冬の間(3月頃まで)だけです。

今年度が最初なので以上の3品ですが、イカスミ入りの塩辛も美味しいし、塩加減や発酵の長短など、何種類か用意していく予定です。塩を使った加工品を作りたいのです。

一夜干しは一般的に「水イカ」が主流ですが、僕達はスルメイカを使用しています。

「スルメイカ」は皮つきですが、「一夜干し」は皮をむいています。

一夜干しと塩辛はクール宅急便で送り、保存については送る時などにご説明します。

~~~~ お知らせ ~~~~

今年7月の1ヶ月間、我が家のファックス故障のため、その間に送信されたファックスを受け取れていません。ご迷惑をおかけした方も多かったようで、申し訳ありませんでした。そしてさらに、11月17日から21日までの5日間、我が家までの電線の腐食で、僕への電話がすべて話し中になっていたようで、これも大変ご迷惑をおかけしました(僕からかけることは出来ていたのと、なにしろ周辺に僕しか住んでいなかったの、NTTも分からなかったようです)。重ねてお詫びいたします。

「塩とにがりの本格的店頭販売」と「ホームページ開設」の準備中です。詳しくは次回で。

「お歳暮セット」を作る話、今年も間に合いませんでした。本当に申し訳ありません。

前回6月に発送した通信で、「今回は7月に出す!」と言っていたのがすでに12月(スミマセン...)。今回は新年のご挨拶も兼ねて、1月中に必ず出します(実は「塩の話」など、もう大分書いたのですが、長くなったので次回に...)。デジタルカメラを借りれるようになったので、次回(もしくは次々回までには必ず)からは写真も取り入れて、もっと読みやすい通信を心がけます。

「手塩」の注文も、お待ちしております!!

それでは皆様、良いお年をお迎えください。

(一年って早いなぁ...)

連絡先

〒857-4601 長崎県南松浦郡新魚目町小串郷大浦37

TEL/FAX 0959-55-2707 メール:kurashi\_en@hotmail.com

自然海塩「晴耕雨読」

くらしの学校「えん」

小野 敬